

爽秋会ナミヨリ

平成20年9月
第4号

田んぼを見ますと、ずいぶん稲穂も頭を垂れてきました。もう稲刈り間近ですね。新米が心待ちにされる季節です。しかし、まだ夏の名残もあって、残暑もきびしいですね。夏の疲れも出る時期です。皆さま、どうかご自愛下さい。



鍼灸について

鍼は痛くて、お灸は熱い?!

多くの方が鍼灸に抱いているのは、このようなイメージではないでしょうか。

確かに治療に用いる鍼には太いものもあれば、長いものもあります。また、からだの部位によっては刺激に対して敏感なところもありますので、鍼を刺すときは無痛という訳ではありません。しかし、実際治療に用いる鍼は髪の毛ほどの太さですし、刺す時にも痛みが生じにくいような工夫を行います。その結果、刺す瞬間はほとんど痛みを感じることはありませんので、ご安心ください。

もう一方のお灸ですが、昔は火傷が生じるまでもぐさを皮膚上で燃やすことがありました。「お灸をすえる」なんていう慣用句も、お灸は熱い!というイメージを強めながら定着させてしまっていますね。お灸の方法を大別すると、痕(あと)が残るお灸と、痕が残らないお灸とがあります。今は痕が残らないように行う方法が一般的です。ですから、じんわりとほのかな温かさを感じて頂ける、とても心地よいものとなっています。

はりと、ヨモギが原料のもぐさ、たったこれだけの道具で一体どんな症状に効果があるのでしょうか?

代表的な適応症状は肩こり、腰痛などの筋肉性の痛みです。それから、胃腸の働きを調整したり、倦怠感の緩和や心地よく眠れるようになる等からだ全体の状態を調整することも、実は得意なのです。日本では古くから行われている鍼灸ですが、近年では欧米でも積極的に医療の現場で行われています。

一度、鍼灸を体験してみたいとお考えの際には、医師、看護師、ケアマネージャーなど介入中の爽秋会の職員にご希望をお伝えください。

ご自宅での生活が充実した時間となるよう、鍼灸師一同お手伝いをさせて頂きたいと思っております。

注) ここで書かれた鍼灸の内容は爽秋会仙台鍼灸院の鍼灸師が行う内容です。他の鍼灸院で行われている全てがこのような治療とは限りませんのでご理解ください。



リハビリテーション部門の紹介

岡部医院では、訪問リハビリテーションを行っています。ご自宅にリハビリ専門職がお邪魔して、一緒に運動をしたり、介助方法を練習したりします。

例えば、こんな時にはご相談ください！

- ・ どうやったらトイレに行ける？ お風呂はどう手伝ったらいいの？
- ・ ベッドでもっと楽に過ごすには？ しっかり座るにはどうする？
- ・ 力が弱くなった！ 身体が衰えていくんじゃないかと不安…。
- ・ 楽に呼吸するためには？ 痰をしっかり出したい！
- ・ 住宅改修どうしよう？ 福祉用具はどれがいい？ どう使う？
- ・ 行きたい所がある。やりたいことがある。どうすればできる？



興味のある方は、担当医、看護師、ケアマネージャーなどへご相談ください。

緩和ケアクリニック仙台 開業のお知らせ

当爽秋会はこのたび仙台二日町に、岡部医院と同様に訪問診療を行う在宅療養支援診療所を新設いたしました。24時間体制の訪問診療を中心とし、緩和ケア外来診療もおこなっています。緩和ケア外来につきましては、週1回の完全予約制としております。

これまで以上に一人でも多くの、仙台市内および仙台市近郊地域の、ご自宅で過ごしたいと願う患者様に、医療を提供してまいりたいと思っております。

住所：仙台市青葉区二日町13の26 ネオハイツ勾当台901号室

電話：022-212-5733

相談・外来予約：022-381-6777（爽秋会緩和ケア相談室）

家族会について

爽秋会では、大切な方を亡くされたご家族様へのサポートになればと、《家族会》を月1回行っております。それぞれの思いを「安心して語れる場」としてご利用いただいております。深い悲しみにあるご家族にとって、外に出て初対面の人たちの中に入って行くことは、どんなにか勇気のいることでしょうか。でも、誰よりも気持ちをわかってくださるのも、同じような経験をなさった方々です。《家族会》の皆様と共に爽秋会スタッフもお待ちしております。

参加自由で、毎月第3日曜日、14:00～16:00、二日町の緩和ケアクリニック仙台で行っております。

場所：緩和ケアクリニック仙台

仙台市青葉区二日町13の26 ネオハイツ勾当台901号室

